

BEFORE
SUNRISE

©1995 CASTLE ROCK ENTERTAINMENT. ALL RIGHTS RESERVED.

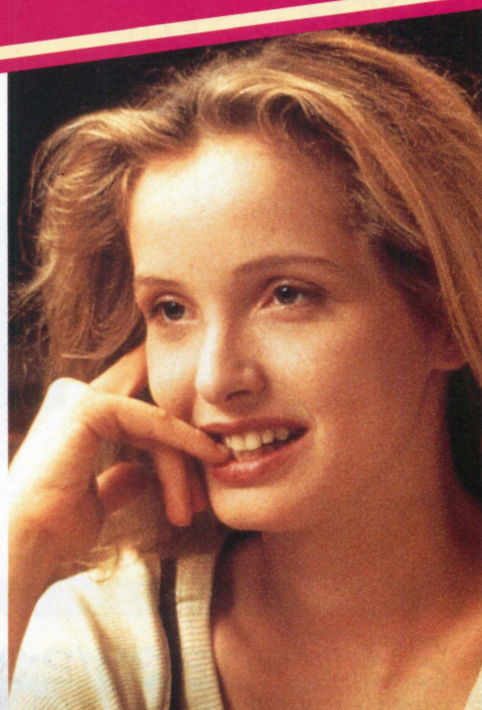


キスする前に贈りたい

恋が生まれる瞬間を、見たことがありますか。

恋人までの 距離

ディスタンス



「リアリティ・バイツ」の
イーサン・ホーク
「フリール」/「白の愛」の
ジュリー・デルピエ

ウィーンの街で14時間、恋人になろう…
見知らぬ旅人との途中下車は、
偶然が運命に変わるための、素敵なまわり道。

キャスブルック・エンターテインメント作品

ソッパ・フィルム・プロダクション

フィルム・ハーフ・ウィーン 提携作品

製作総指揮 ションスロス

脚本 リチャード・リンクレイター・キム・クリサン

製作 アンソニー・カーマクス

〈シネレシジョンXの旗手〉監督 リチャード・リンクレイター

東宝東和提供

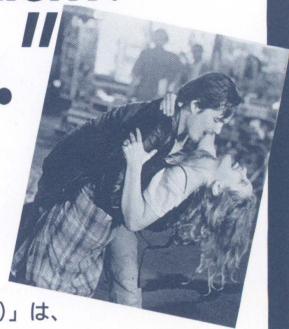


1995年ベルリン映画祭銀熊賞(最優秀監督賞)受賞作品

"FINALLY A DATE MOVIE THAT GETS IT RIGHT! ...sharp, sexy, funny."

ピーター・トラバース/ローリング・ストーン誌

デート・ムービーについて傑作が生まれた!
鋭く、セクシーで、おもしろい。



恋が生まれる瞬間、そしてその行方を、「ジェネレーションX」と呼ばれる、90年代の若者の心情を鮮やかに切り取った会話と、斬新な視点で描く「恋人までの距離(ディスタンス)」。今年のベルリン映画祭で見事に銀熊賞(最優秀監督賞)を獲得した、いま最も若く、そして輝いている才能が生んだ、新感覚のラブ・ストーリーがやって来る。



「僕と一緒に、ウィーンで途中下車してくれないか?」
ユーレイル(ヨーロッパ横断鉄道)で偶然に隣り合わせた、

アメリカ青年ジェシーとパリ・ソルボンヌ大学の学生セリーヌ。意気投合した二人は、ジェシーの帰国便がたつまでの14時間を、ウィーンの街で過ごすことに。ロマンティックでミステリアスな古都を一晚中歩きながら、恋、人生、夢、死…とさまざまなことを語り合う。思い付くままに、正直に、気持ちをぶつけあう二人。けれど、ジェシーの帰国は14時間後に迫っていて…。

恋人までの 距離

ディスタンス

「恋人までの距離(ディスタンス)」は、インディーズ出身の監督リチャード・リンクレイターのメジャー進出作。低予算の自主映画『SLACKER』はジェネレーションXムービーとして、批評家や一部の映画ファンに熱狂的に支持されていたが、33才にしてベルリン映画祭の監督賞を受賞という快挙をなした。

通りすがりの街の人々以外、出演者はほとんど主役の二人だけ。さらに14時間という制限付きで描かれた、このラブ・ストーリーの魅力度を高めているのは、なんとと言っても会話

の素晴らしさ/素直な言葉で、恋人までの距離を埋めようとするのは「リアリティ・バイツ」「いまを生きる」の「SHY GUY」イーサン・ホークと、「トリコロール/白の愛」「キリング・ゾーイ」のジュリー・デルピー。アメリカ、フランスを代表する若手俳優である二人は、短編映画やビデオクリップの監督も手掛ける才能の持主で、今回も脚本の段階から参加。二人の感性が見事に反映された、ナ

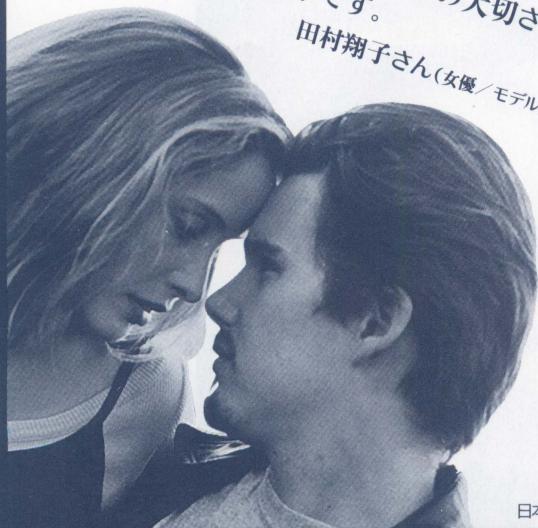
チュラルでリアルな会話は、まるで隣のテーブルに座ったカップルのよう。映画に新鮮な息づかいを与えている。

会話と共に、このラブ・ストーリーで重要な役目を果たしているのは、古都ウィーン。「第三の男」で有名なプラーター公園の大観覧車や、水上レストランなど、背景に美しい名所がふんだんに使われ、愛が生まれ、育っていく姿をより魅力的に見せている。

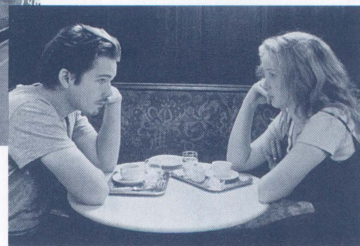
この映画で、恋が生まれる瞬間に気がついたなら、あなたの「恋人までの距離(ディスタンス)」も、きっとゼロに近づいて行くはず…。

ロマンチックで、素直で、心地よい。
気持ちを言葉で伝えることの大切さを
教えてくれる1本です。

田村翔子さん(女優/モデル)



「朝になれば馬車はカボチャに戻るわ。
それまでガラスの靴をはかせて」



BEFORE SUNRISE

1995年アメリカ映画 / 1時間42分 / ドルビー・ステレオ / ビスタサイズ
日本語字幕 / 松浦美奈 / キャスルロック・エンターテインメント作品 東宝東和提供



9/9 土 ~ 29 金 → 12:35 / 2:35 / 4:35 / 6:35

前売一般=1,400円 前売学生=1,200円 (当日一般=1,700円 当日学生=1,400円)

ホワイティ原の広場上がる 東へ5分
扇町ミュージアムスクエア
06・361・0088